

## 子宮頸がん予防ワクチンおよび小児用肺炎球菌・ヒブワクチンの公費助成を平成24年度も継続実施することになりました！

現在、子宮頸がん予防(HPV)ワクチンおよび、小児用肺炎球菌とヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチンの接種費用を公費助成していますが、これを平成24年度も継続実施することになりました。

このうち子宮頸がん予防ワクチンは、半年間をかけて3回接種しなければならないようになっております。

そのため、平成24年度に公費助成が継続するかどうか、昨年の段階では未定だったため、昨年10月以降に、子宮頸がん予防ワクチンの第1回目の接種を見送った方もおられました。

そうした方々に、来年度も継続実施することになったこととお知らせするとともに、現在の高校1年生に対して、本年3月末までに第1回目を接種していれば、残りの分も公費助成の対象となることとお知らせいたします。

また、現在高校2年生の方については、国の基準では本年度中に子宮頸がん予防ワクチンを1回もしくは2回、接種していたとしても、来年度の公費助成の対象から外れることになっておりますが、さいたま市では独自の事業として、現在の高校2年生に対しても、高校1年生と同様に、本年度中に1回でも接種していれば、残りの分について来年度も公費助成の対象とすることになりました。

詳しくは、各区保健センターにお問い合わせください。



©NEW KOMEI TO

皆様のご意見・ご要望などを、お気軽に **吉田ひとし** までお寄せください。  
TEL & FAX: 048-749-4328 / e-mail: yoshi-yoshi1104@mopera.net  
公式ウェブサイト <http://yoshida-iwatsuki.jp/>

# 市立保育園、小中学校の給食の放射性物質検査を実施します！

さいたま市では、すべての市立保育園(62園)と、小中学校および特別支援学校(全160校)の給食の放射性物質の検査をおこなうとともに、給食における内部被ばく量の情報提供を実施することになりました。

検査方法は、提供した給食の1週間分(保育園は6日分、小中学校等は5日分)の内部被ばく量を、ゲルマニウム半導体検出器によって検査する、というものです。

検査日程は、2月から3月にかけて、保育園や小中学校の給食を順次、検査してまいります。

測定結果については、検査の約1週間後に、さいたま市のWebページ(<http://www.city.saitama.jp>)にて公表いたします。

検査の結果、内部被ばく量が年間換算で1ミリシーベルトを超えた場合、その保育園もしくは学校の給食を食材ごとに再検査をおこないます。



## 〈岩槻区に学区のある小中学校の給食の検査日程〉

○2月1日～7日

河合小、太田小、川通小、東岩槻小、城北小、上里小、西原小  
桜山中、岩槻中、川通中、城北中、慈恩寺中

○2月7日～13日

新和小、和土小、柏崎小、城南小、城南中

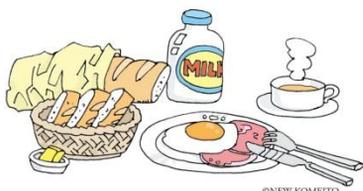
○2月8日～14日

岩槻小、徳力小、慈恩寺小、柏陽中、西原中

## 〈岩槻区内の保育園の給食の検査日程〉

○2月1日～7日

西町保育園、岩槻本町保育園、諏訪保育園  
美幸保育園



極微量かつ多種類の放射能を、きわめて高い精度で測定することができるゲルマニウム半導体検出器